

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業  
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	2
学校名	入善高等学校

学校の現状と課題	本校は地域から支えられた学校であり、泊高校との統合高校として朝日、入善、黒部市を地元とした魅力ある学校づくりに取り組んでいる。この地域は人口減少が進み、地域の将来に強い危機感がある。この地域を支える人材育成が、本校が担うべき重要な役割となる。この地域の理解を促し、地域を愛し、地域を担う人材の育成を目指す。	
テーマ(特色)	地域を愛し、地域を担う人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	普通科における2つのコースと農業科では、コロナ禍ではあるが、できる限りのフィールドワークを実施し、探究学習に取り組んだ。特に今年度は観光ビジネスコースの活動の初年度であり、地元で9回のフィールドワークと2回の講演会を行った。その報告書や中間発表から、生徒の地域を見る目に変化してきた。(アンケート結果に回答)町報や新聞に報道されることも多く、その活動が周囲にも知られるようになってきた。また、観光ビジネスコースの教育プログラムは高い評価を受け、来年度も外部団体からの助成を得ることができその活動が本校の特色にもなってきた。	
実施内容 (具体的に記入する)	【自然科学コース】自然科学コース課題研究発表会 3年自然科学コース(41名)が、2年次から研究した内容を入善コスモホールにて本校生徒(2・3学年自然科学コース、農業科計111名)の他、地域の人に向けて公開した。 【農業科】農業科課題研究発表会 3年農業科(30名)が、2年次から研究した内容をコスモホールにて本校生徒(2・3学年自然科学コース、農業科計140名)の他、地域の人に向けて公開した。 【観光ビジネスコース】 2年観光ビジネスコース(36名)のこれまでの課題研究の取組みの中間発表会を行った。北陸先端科学技術大学の比嘉助教や扇状地研究所の水嶋所長から、アドバイス・講評を頂いた。	
取組みの成果	コースや農業科の課題研究大会の助成やフィールドワークのバス補助など財政的な支援ができ、それぞれの取組みを実施することができた。観光ビジネスコースの取組みの成果として、生徒にこの地域の魅力や観光の可能性に気づかせることができた。農業科では、地域との結びつきやこの地域の基幹産業である農業の魅力も感じた。(アンケートなどの回答から)	
対象者(学年・人数など)	1年生30名(農業科)、2年生108名(観光ビジネスコース、自然科学コース、農業科)、3年70名(自然科学コース、農業科)	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	8月2日(月)【自然科学コース】糸魚川フィールドワーク 7月15日(木)【自然科学コース】課題研究発表会
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	1月25日【3学年農業科】農業科課題研究発表会
	2月	
	3月	3月17日【観光ビジネスコース】キックオフセミナー 3月23日【観光ビジネスコース】中間報告会